

(第1号様式)

## 教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成26年 8月 13日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏 名		性 別	<input checked="" type="radio"/> ① 男性 <input type="radio"/> ② 女性
	住 所	岐阜県 本巣 <input checked="" type="radio"/> 市・町・村 (郡名は記入しない。)		
	年 齢	<input type="radio"/> ① 20歳代 <input type="radio"/> ② 30歳代 <input type="radio"/> ③ 40歳代 <input type="radio"/> ④ 50歳代 <input checked="" type="radio"/> ⑤ 60歳代		
	情報の種類	<input type="radio"/> ① 意見 <input type="radio"/> ② 要望 <input checked="" type="radio"/> ③ 情報提供 <input type="radio"/> ④ 質問 <input type="radio"/> ⑤ その他		
	回答の希望	<input type="radio"/> ① 教育委員会の回答を希望 <input checked="" type="radio"/> ② 教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。) 社会教育 地域人材の活用に関すること			
<p>岐阜県の施策の1つに、子どもの放課後の居場所づくりと地域のおじさん、おばさんの見守り活動の推進がある。これらを受けて、本巣市では「もとすチャレンジクラブ」を平成25年度から実施しており、活用が広がっているので紹介する。</p> <p>留守家庭の子どもたちのための教室とは別に、小学校の1年生から6年生までを対象に年間5回、16:00～17:00まで、工作や体験活動など様々な活動を行っている。費用は保険代50円×5回+材料代100円=350円である。講師は、岐阜工専の先生や地域在住の特技をもつおじさん、おばさんたちで工作、手品、科学工作、国際交流(スバル学院の協力)、軽スポーツなどのメニューが用意されている。</p> <p>昨年25年度は本巣地区の外山小、真正地区の真桑小、糸貫地区の土貴野小の体育館で実施された。今年度は、外山小(35名)、真桑小(88名)、土貴野小(53名)に加え、本巣小(49名)、弾正小(51名)で開催され、( )中の人数が参加している。来年度は根尾小を除く市内7つの小学校で開催する予定である。</p> <p>岐阜工専の出前事業の取組を上手に活用したり、外国人留学生が通うスバル学院(私立)の協力を得たり、これまで子ども対象のクラブ指導者に講師を頼むなどしながら、市の社会教育課の職員が世話をしている。その活動に地域の青少年育成指導員が3～5名程手伝う姿があった。働く親からは喜ばれる取組ではあるが、子育てを他人任せにする傾向をさらに強くする施策でもあると思う。親が家庭で教育できる時間やお金の面などを整えることの方が大切だと思う。</p>				